様式第１号（第７条関係）　　令和　８年　９月３０日

伊勢崎市議会議長　　藤生　浩二　　様

伊勢崎市議会 有志会
会長　　堀地　和子

令和　８　年度政務活動費支出状況報告書（第２四半期）

伊勢崎市議会政務活動費の交付に関する条例第７条の規定により、次のとおり令和　８　年度第２四半期（７月から９月まで）の政務活動費支出状況を報告します。

１　支出状況　　（単位:円）

科　目	今期支出額	左のうち、今期概算払受領済額	備考
調査研究費	47,560		
研修・会議費			
資料作成費			
資料購入費			
広報広聴費			
要請・陳情活動費			
人件費			
事務所費			
合計	47,560		

２　交付限度額　　1,155,000　円

３　既交付額　　23,760　円

４　今期請求額　　47,560　円

５　未交付額　　1,083,680　円

６　添付書類

(1)　領収書

(2)　視察等報告書

(3)　会計帳簿の写し

(4)　その他政務活動費の支出に係る証拠書類

伊勢崎市
議会事務局
8.9.30
第　55　号
収受

令和8年度　政務活動費会計帳簿

交付限度額	1,155,000
既交付額	23,760
支出額計	71,320

会派名 ：　有志会

整理番号	日付	科目	内容	収入	支出	差引
1	5/9	研修・会議費	全国女性議員政策研究会参加		16,800	-16,800
2	6/12	資料購入費	書籍1冊「自立力を磨く」		1,980	-18,780
3	6/14	資料購入費	文化財保存全国協議会大会資料代		800	-19,580
4	6/19	資料作成費	コピー代		180	-19,760
5	6/21	調査研究費	会費2件		4,000	-23,760
6	7/16		第一四半期分入金	23,760		0
7	7/5	調査研究費	ひかりの記憶・手ざわりのむこう 講演会参加		47,560	-47,560
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						

令和　8　年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号　7

会　派　名	有志会	議員氏名	堀地　和子
支出年月日	令和８年７月５日（第２四半期）	支 出 額	47,560　円
按分した場合	（金額）　円　×（按分率）　％　＝　円		
使 途 区 分	①．調査研究費　２．研修会議費　３．資料作成費　４．資料購入費 ５．広報広聴費　６．要請・陳情活動費　７．人 件 費　８．事務所費		
備　　考	ひかりの記憶・手ざわりのむこう 講演会参加 （駐車場代2,000円＋交通費・宿泊費セット代45,560円＝47,560円）		

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。）

領収書

株式会社シェリエ

入庫時刻　07月04日　05時58分

精算時刻　07月05日　23時31分

受領金額　2000円

2026年07月05日23時31分　発行

適用税率１０％（税込）
登録番号（T５０３０００１０６０６３９）

本庄早稲田駅前パーキング

株式会社ＪＴＢ

領収証

適格請求書発行事業者登録番号 T8010701012863
領収証管理番号 uh0-001-4wf-R1
発行日 2026年06月17日
出納責任者 [redacted]

有志会　堀地 和子　様

このたびは、当社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
下記金額、正に領収いたしました。

￥45,560＊

7月　4日出発　国内旅行ご旅行代金として

ご入金内訳

取引日	種別	金額
2026/06/17		0
	入金計	0
	クレジットカードでのお支払い	45,560

取扱個所

スマーク伊勢崎店
〒379-2224　群馬県伊勢崎市西小保方町368ｽﾏｰｸ伊勢崎2F
TEL：0270-20-8525

本領収証の作成地

〒105-7108 東京都港区東新橋１丁目５−２ 汐留シティセンター

取扱担当者 [redacted]

※押印がないものは無効とする

株式会社ＪＴＢ

ご利用明細

適格請求書発行事業者登録番号 T8010701012863
領収証管理番号 [redacted]
発行日 2026年06月17日

商品	利用日	消費税区分	税込金額	内消費税額
JR普通券（本庄早稲田→東京）	2026/07/04	10%	3,680	334
JR普通券（東京→本庄早稲田）	2026/07/05	10%	3,680	334
国内ダイナミックパッケージ（東京↔近郊 宿泊代）	2026/07/04	10%	38,200	3,472
消費税（適用税区分毎小計）		10%対象	45,560	4,141
領収額計/内消費税額計			45,560	4,141

ひかりの記憶・手ざわりのむこう

三輪途道・籔内佐斗司・山田修3人展

東大寺総合文化センター内 会議室A

観覧料 無料

〒630－8208 奈良県奈良市水門町100番地

共催：奈良県立大学、一般社団法人メノキ

助成：公益財団法人三菱UFJ 信託地域文化財団

協力：(株)ジンズ、奈良県立美術館

2026 7.4 Sat — 12 Sun

9:00－17:00（最終日 16:00まで）

アーティスト・トーク［三輪途道、籔内佐斗司、山田修］

7月4日(土) 14:00－15:30（予約不要・先着30名）

会場：東大寺総合文化センター内 会議室A

この三輪途道作「光明観音像」の本体は奈良県立美術館で同時期に展示されます。この東大寺での展示では縮小した触れるための3D模造が展示されます。これら2つを体験することで触察の意味が深まります。





関連イベント

東大寺福祉事業団支援 チャリティ公演会

会場：東大寺総合文化センター内 金鐘ホール

※チケットの売り上げは経費の一部を除き東大寺福祉事業団に寄付します。

Co-GIGAKU「鯰しづめ」

7月5日(日) 13:00受付 14:00開演

伎楽面：籔内佐斗司／音楽：東野珠実／台本：桂 吉坊

予役指導：惺雲／出演：大鯰・茂山千三郎、茂山郁馬

演者：Co-GIGAKUの子／狂言回し：桂 吉坊

楽人：東野珠実、中村香奈子、鈴木絵理、伊藤光波子

主催：(一社)メノキ

共催：(有)籔内佐斗司工房、Co-GIGAKU実行委員会

協力：(株)尾花、(株)ジンズ、奈良県立大学、奈良県立美術館、(一社)日本寺子屋協会

チケット代：前売り3,000円、当日3,500円（販売は6月1日より）

浪曲 真山隼人「菩提僊那を語る」

7月11日(土) 13:00受付 14:00開演

浪曲：真山隼人／曲師：沢村さくら／奉納者：南悦子

主催：(一社)メノキ

協力：(株)ジンズ、奈良県立大学、奈良県立美術館

チケット代：前売り3,000円、当日3,500円（販売は6月1日より）

お問い合せ：一般社団法人メノキ
e-mail: info@ menoki.org
Tel / Fax: 0274－67－5992
事務局：080－6645－1779

会場へのアクセス：
JR大和路線・近鉄奈良線「奈良駅」から
市内循環バス「大仏殿春日大社前」下車徒歩5分

ひかりの記憶・手ざわりのむこう
三輪途道・籔内佐斗司・山田修3人展

本展覧会は、全盲の彫刻家・三輪途道、彫刻家・籔内佐斗司、研究者・山田修による触れる彫刻および文化財の3D模造を紹介する展覧会です。
展覧会では、三輪の彫刻作品《光の存在―光明観音》(2026)を、3Dデータを使って模造をした「光明皇后3D模造」をはじめ、縮尺模造「東大寺 金銅八角燈籠羽目板(音声菩薩)」(2026)や縮尺模造「東大寺鐘楼梵鐘」(2026)などの文化財を3D模造とすることで、触れることが出来る美術作品および文化財の複製品を展示しています。これらは、触れることをとおして、文化財を身近に感じ、理解の裾野を広げることを目指し、デジタル技術を活用した研究の成果を紹介するものです。
またあわせて、全盲の彫刻家・三輪の、手の感覚だけで制作した彫刻作品、籔内の仮面舞踏集団「平成伎楽団」のオリジナルの伎楽面や古の伎楽面の模造作品など、触れて鑑賞する作品を展示しています。触覚とは、形を理解するうえで極めて優れたインターフェースです。「たなごころ」から伝わる手ざわりやぬくもりは、未知の対象に対する不安をやわらげ、好奇心と安心感をもたらします。
本展では、日本の祈りの形に触れながら障害のあるなしを越えて鑑賞するには何が必要かを一緒に考えます。歴史と記憶が幾層にも折り重なるこの地において、アナログとデジタルの邂逅が、これまでにない鑑賞のかたちをもたらすことでしょう。



三輪途道 Michiyo MIWA

1966年 群馬県に生まれる。1994年 東京藝術大学大学院美術研究研究科保存修復技術専攻修了。修了制作では東大寺俊乗堂重源上人像を模刻、東大寺に寄贈。2002年大仏開眼1250年慶讃法要事業で東大寺の依頼により菩提僊那像を制作。仏像制作の技術を生かし、作家の日常を木彫で表現。土着性を重んじ自分の足元を掘り下げることを制作の核とする。病のため50代前半に全盲となる。現在は触覚のみで制作を続け、「ふれて鑑賞する」展覧会を各地で開催。一般社団法人メノキを設立し、障害とアートをつなぐ活動も手がける。2024年「ヒューマンビューイング―藤野天光、北村西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」群馬県立館林美術館、2025年「はじまりの感覚展」アーツ前橋。2025年「みること、つくること、つながること『Museum Startあいうえの』12年と現在地 」東京都美術館。



籔内佐斗司 Satoshi YABUUCHI

1953年大阪生まれ。東京藝術大学および大学院で彫刻を学び、同大学保存修復技術研究室で仏像の古典技法と保存修復の研究に従事した。その経験を基に檜や漆、顔料などを用いた独自の制作技法を確立し、1987年に彫刻家として独立。代表的なキャラクター「童子」を通して、森羅万象に宿る生命の根源や仏教的・アニミズム的世界観を表現している。木彫のほかブロンズによる屋外彫刻やマルチプル作品も制作し、「Art For The Public」と呼ぶ公共空間への作品設置は全国約100か所に及ぶ。2010年の平城遷都1300年祭では公式キャラクター「せんとくん」をデザインし、仮面舞踏集団「平成伎楽団」を結成するなど活動の幅を広げた。現在は東京藝術大学名誉教授、堺名誉大使、奈良県立美術館館長、奈良県立大学客員教授、ビューティ&ウエルネス専門職大学副学長。



山田修 Osamu YAMADA

1973年群馬県生まれ。1999年東京藝術大学大学院美術研究科保存修復技術専攻修了。岡村印刷工業株式会社に勤務後、東京藝術大学にて3Dデータを活用した文化財の調査研究に従事。東京藝術大学特任教授を経て現在奈良県立大学教授。文化財を身近に感じること、裾野を広げることを目指した3Dデータの配信事業やさわれる文化財の制作を行なっており、2023年「奈良に宿る『文化の記録』と『記憶の継承』」(奈良県立美術館)、「すごいぞ!レプリカ~文化財を未来に伝える~」(なら歴史芸術文化村)、2024年「さわる」(なら歴史芸術文化村)などで発表。

連携企画

奈良ゆかりの現代作家展
ふれる光 三輪途道
2026年6月27日(土)~8月23日(日)
奈良県立美術館ギャラリー

開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日:月曜日(但し、7/20は開館)、7/21(火)
観覧料:無料
主催:奈良県立美術館/助成:一般財団法人地域創造
協力:奈良県立大学、株式会社ジンズ、一般社団法人メノキ

かたてのおと・ふれるひかり―文化財の3D模造で障害者と共に鑑賞の形を作るプロジェクト

令和 8年 7月31日

視察等報告書

整理番号

会派名	有志会	報告者氏名	堀地　和子
日時	令和8年7月4日（土）～5日（日）		
事項	ひかりの記憶・手ざわりのむこう 講演会参加		
場所	奈良県奈良市		
参加者氏名	堀地和子		

（目的・理由・内容）

別紙のとおり

（成果・所感）

別紙のとおり

※（目的・理由・内容）及び（成果・所感）は別途報告様式に替えることができる。
なお、（成果・所感）は、参加者全員が記入する。

報 告 者　有志会 堀地和子

実 施 日　令和8年7月4日(土)～5日(日)

場　　所　奈良県奈良市東大寺総合センター・奈良県立美術館

テ ー マ　ひかりの記憶・手ざわりのむこう

～盲目彫刻家作家三輪途道の触察をテーマとする講演会と関連イベント～

参加目的「だれ一人取り残さない」という共生社会の実現には、日常生活のみならず、文化や芸術面での推進も必要である。群馬県では、 群馬県立美術館でのインクルーシブアートの創作活動や鑑賞をテーマとしたワークショップや講演会を開催している。

現在、伊勢崎市には公共施設としての美術館がない。長年にわたり、市民から美術館建設の要望がある。伊勢崎市の特色ある美術館をインクルーシブアートという視点から構想する一助とするために参加。

内容と感想

1，一日目　3 人のアーティストによるギャラリートーク

三輪途道　1966 年群馬県生まれ。県立高崎女子高校を卒業し東京芸日大学大学院美術研究所研究科保修復技術専攻終了。2002 年、大仏開眼1250年慶賛法要事業で東大寺の依頼に菩提遷那を作成し奉納。病のため 50 代前半に全盲となるが、現在は触覚のみで政策を続け「ふれて鑑賞する展覧会を各地で開催。触察が形を理解するうえで優れたインターフェイス。

薮内佐登司　1953 年大阪生まれ。東京芸術大学名誉教授、奈良県立美術館館長。「Art For The Publick」と呼ぶ公共空間への作品設置を多数行い 2010 年の平城遷都 1300 年で公式キャラクター「せんとくん」をデザイン。仮面舞踏集団「平成伎楽団」を結成するなど活動の場を広げている。

山田 修　1973 年群馬県生まれ。東京芸術大学で3D データを活用した文化財の調査に従事。化財を身近に感じること. すそ野を広げることを目指した3D の配信事業やさわれる文化財の制作を行っている。東京芸術大学特任教授、奈良県立大学教授。

2，二日目　Co-GIGAKU 鯰しずめ　東大寺福祉事業団支援チャリティー講演会

今回事業のテーマ「ひかりの記憶・てざわりのむこう」の展示にちなみ、三輪が失明後に制作した「光明観音像」の縮小3D、山田が東大寺大仏殿前八角灯篭の「音声菩薩」、薮内が伎楽使用する伎額面や大鯰などすべて手で触れる作品を展示した展覧会から、東大寺長の狭川普文、薮内、三輪が大仏様のご縁と題した鼎談。

その後、桂吉坊が伎額面をつけたままで「せんとくん」のお兄さん当たる「鹿坊」を落語で披露。最後に創作伎楽「鯰しづめ」を日本寺子屋協会の大阪の子供たちが熱演。

鯰役には狂言師の茂山千三郎が客演として登場。テーマである鯰は国宝瓢鯰図が有名ですgとして地震大国の我が国では地下の大鯰が地震を起こすという故事来歴を基に作ったもの。

また、音楽を三輪の高女方の同級生東野珠美が担当。

群馬に縁のある素晴らしい才能があつまり行われたこの催しを群馬でも再現し、インクルーシブアートへの理解が得られたら良いと強く思った二日間でした。合わせて伊勢崎に特色のある美術館ができる足掛かりの一つとなるとテーマをもらったと感じました。